

8. 口腔粘膜炎を起こしやすい抗がん剤について…一覧表を示します

口腔粘膜炎を引き起こす可能性がある抗がん剤は多数あります。そして、同じ薬でも症状の程度には個人差があります。下記に口腔粘膜炎の発症頻度が高い薬剤をまとめました。



●●● 殺細胞性の抗がん剤(*) ●●●

(*)殺細胞性の抗がん剤とは…

細胞が分裂して増える過程に作用する抗がん剤。細胞増殖の盛んな細胞を障害します。

一般名※	商品名※	対象となるがんの種類
ブレオマイシン	ブレオ	皮膚がん、頭頸部がん、肺がん、悪性リンパ腫、食道がん、子宮頸がん、神経膠腫、甲状腺がん、など
ダウノルビシン	ダウノマイシン	急性白血病
ドキシソルビシン	アドリアシン ドキシソルビシン	悪性リンパ腫、肺がん、消化器がん、乳がん、膀胱腫瘍、骨肉腫、など
リポソーム化ドキシソルビシン	ドキシル	卵巣がん、エイズ関連カポジ肉腫
エピルビシン	ファルモルビシン エピルビシン	急性白血病、悪性リンパ腫、乳がん、卵巣がん、胃がん、肝臓がん、膀胱がん、腎盂・尿管腫瘍
イダルビシン	イダマイシン	急性骨髄性白血病
アクチノマイシン D	コスメゲン	ウイルス腫瘍、絨毛上皮腫、破壊性胞状奇胎、小児悪性固形腫瘍

一般名※	商品名※	対象となるがんの種類
エトポシド	ベプシド ラストット エトポシド	小細胞肺がん、悪性リンパ腫、急性白血病、睾丸腫瘍、膀胱がん、など
イリノテカン	イリノテカン カンプト トポテシン	小細胞肺がん、非小細胞肺がん、子宮頸がん、卵巣がん、胃がん、大腸がん、乳がん、有棘細胞がん、悪性リンパ腫、小児悪性固形腫瘍、膵臓がん
フルオロウラシル	5-FU フルオロウラシル 注射液	胃がん、肝臓がん、膵臓がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、など
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム	ティーエスワン* (*他に多数の後発品があります)	胃がん、大腸がん、頭頸部がん、非小細胞肺がん、膵臓がん、胆道がん、乳がん
テガフル・ウラシル テガフル(腸溶)・ウラシル	ユーエフティ ユーエフティ E 顆粒	頭頸部がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、胆のう・胆管がん、膵臓がん、肺がん、乳がん、膀胱がん、前立腺がん、子宮頸がん
トリフルリジン・チピラシル	ロンサーフ	大腸がん、胃がん
メトトレキサート	メソトレキセート	肉腫(骨肉腫、軟部肉腫等)、急性白血病、悪性リンパ腫、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、絨毛性疾患、乳がん、胃がん、膀胱がん
カペシタビン	ゼローダ	乳がん、胃がん、大腸がん

一般名※	商品名※	対象となるがんの種類
シタラビン	キロサイド	急性白血病、胃がん、膵臓がん、肝臓がん、結腸がんなどの消化器がん、肺がん、乳がん、婦人科がん、膀胱腫瘍
ゲムシタビン	ジェムザール ゲムシタビン	非小細胞肺がん、膵臓がん、胆道がん、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫
ヒドロキシカルバミド	ハイドレア	慢性骨髄性白血病、本態性血小板血症、真性多血症
メルファラン	アルケラン	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、小児固形腫瘍
ブスルファン	マブリン散 ブスルフェクス	慢性骨髄性白血病、真性多血症、造血幹細胞移植の前治療
シクロホスファミド	エンドキサン	多発性骨髄腫、悪性リンパ腫、肺がん、乳がん、急性白血病、真性多血症、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん 神経腫瘍、骨腫瘍、など
シスプラチン	シスプラチン ランダ	肺がん、消化器がん、婦人科がん、泌尿器系のがん、など
パクリタキセル	タキソール パクリタキセル	非小細胞肺がん、乳がん、卵巣がん、子宮体がん、胃がん、など
パクリタキセル (アルブミン懸濁型)	アブラキサン	乳がん、胃がん、非小細胞肺がん、膵臓がん
ドセタキセル	タキソテール ワンタキソテール ドセタキセル	非小細胞肺がん、乳がん、卵巣がん、子宮体がん、前立腺がん、頭頸部がん、食道がん、胃がん

一般名※	商品名※	対象となるがんの種類
エリブリン	ハラヴェン	乳がん、悪性軟部腫瘍
トラベクテジン	ヨンデリス	悪性軟部腫瘍
プララトレキサート	ジフォルタ	末梢性 T 細胞リンパ腫

※薬の一般名と商品名

「一般名」とは薬の有効成分を示す名前です。これに対して、「商品名」とは製薬企業が医薬品を販売するためにつけた名前です。



●●● 分子標的型の抗がん剤(*) ●●●

(*)分子標的型の抗がん剤とは・・・

がん細胞に存在する特殊な物質を標的にしてピンポイントで攻撃する抗がん剤。

一般名※	商品名※	対象となるがんの種類
セツキシマブ	アービタックス	大腸がん、頭頸部がん
アフアチニブ	ジオトリフ	非小細胞肺がん
オシメルチニブ	タグリッソ	非小細胞肺がん
アレクチニブ	アレセンサ	非小細胞肺がん
ダコミチニブ	ビジンプロ	非小細胞肺がん
ダブラフェニブ	タフィンラー	悪性黒色腫(メラノーマ)、 非小細胞肺がん
スニチニブ	スーテント	消化管間質腫瘍、腎細胞がん、 膵神経内分泌腫瘍
エベロリムス	アフィニートール	腎細胞がん、膵神経内分泌腫瘍、 乳がん、など
テムシロリムス	トーリセル	腎細胞がん
アキシチニブ	インライタ	腎細胞がん
レンパチニブ	レンビマ	甲状腺がん、肝臓がん
ラパチニブ	タイケルブ	乳がん
パルボシクリブ	イブランス	乳がん
アベマシクリブ	ベージニオ	乳がん
イブルチニブ	イムブルビカ	慢性リンパ性白血病、 マントル細胞リンパ腫
ゲムツスマブオゾガマイシン	マイロターグ	急性骨髄性白血病
ロミデプシン	イストダックス	末梢性 T 細胞リンパ腫
シロリムス	ラパリムス	リンパ脈管筋腫症

●●●がん免疫治療薬(*)●●●

(*)がん免疫治療薬とは・・・

自分の免疫細胞が、がん細胞を排除しようとする働きを助ける薬。

一般名※	商品名※	対象となるがんの種類
ニボルマブ	オプジーボ	悪性黒色腫、非小細胞肺がん、腎細胞がん、古典的ホジキンリンパ腫、頭頸部がん、胃がん、悪性胸膜中皮腫
ペムブロリズマブ	キイトルーダ	悪性黒色腫、非小細胞肺がん、古典的ホジキンリンパ腫、尿路上皮がん、など
イピリムマブ	ヤーボイ	悪性黒色腫、腎細胞がん
アテゾリズマブ	テセントリク	非小細胞肺がん
アベルマブ	バベンチオ	メルケル細胞がん
デュルバルマブ	イミフィンジ	非小細胞肺がん

※薬の一般名と商品名

「一般名」とは薬の有効成分を示す名前です。これに対して、「商品名」とは製薬企業が医薬品を販売するためにつけた名前です。

